

## 1 平成25年度の概況

平成25年度については、公益財団法人に移行後、2年目の事業年度となりました。

まず、当法人の運営の基盤となる基本財産の適切な運用を行いました。  
さらに、各種規則類の制定、改正を行い、運営体制を整備し、健全な事務局業務を推進しました。

## 2 公益事業の実施内容について

### (1) 交通安全や交通道德の普及啓発をはじめ、安全・安心や暮らしやすさの向上に関する事業

鉄道の安全やマナーに関する普及啓発活動として、小田急電鉄株式会社と協力し、「ロマンスカー学習帳」を50,000冊製作し、春と秋の交通安全運動期間を中心に、小田急沿線の小学校98か所、幼稚園14か所、警察署25か所などに配布しました。

また、鉄道事業の理解促進と安全マナーの啓発活動として、小田急電鉄株式会社と協力し、お子様向けの小冊子「おだきゅう鉄道なるほど百科」20,000冊を製作し、「世田谷区地域福祉推進大会」のほか、「狛江市ボランティアのつどい」、「松田町ふくしあったかフェスタ」などのイベントに記念品として提供するとともに、小田急沿線の小学校などにも配布しました。

株式会社小田急トラベルをはじめ、小田急グループ各社の協力により、小田急沿線の自治体および社会福祉協議会から推薦を受けた施設の入所者や通所者などを対象に、日帰り招待旅行「すこやか号」を催行しました。平成25年度については、9月に秦野市「福祉作業所リトルスター」、藤沢市「生きがい就労センター」、松田町「老人クラブ連合会」を、11月には、多摩市「啓光学園」、世田谷区「喫茶YOU遊・ぷらたなす・桜ん房・どんぐり」、綾瀬市「手をつなぐ育成会」の合計6団体を箱根や西伊豆などへの日帰り旅行に招待しました。

小田急沿線を中心とする特別支援学校および養護学校の生徒を対象にソフトバレーボール教室を11回開催し、ソフトバレーボールの寄贈や記念品の提供をするとともに、神奈川県特別支援学校体育連盟主催の「ソフトバレーボール大会」にも協賛するなど、スポーツを通じた障がい者の自立支援のための事業を実施しました。

小田急沿線の自治体をはじめ、社会福祉協議会やNPO法人などの公的団体への支援・助成として、ハンドタオル3,000枚を製作し、「神奈川県特体連ハイキング・レクリエーション大会」、「小田原市障害者レクリエーション大会」などのイベントに対し、記念品として提供しました。

### (2) 沿線の豊かな自然環境の保全、整備に関する事業

小田急沿線を中心とする自治体をはじめ、NPO法人や企業などによる地域社会の環境美化活動への助成として、平成25年度については、小田原市、開成町、秦野市、秦野市教育委員会、伊勢原市、綾瀬市、大和市、多摩市、狛江市、世田

谷区社会福祉協議会、公益財団法人かながわ海岸美化財団に対して、当法人が製作したゴミ袋を合計53,000枚寄贈しました。

小田急電鉄株式会社による「自然との共生」活動の一環として同社が主催した、相模川および江の島海岸における「クリーンキャンペーン」への協賛として、ゴミ袋を寄贈するとともに、参加者に記念品を提供しました。

(3) 文化やスポーツ振興など地域の活性化に関する事業

小田急沿線地域住民の健康増進への支援・協賛として、「湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会」、「小田原報徳マラソン大会」、「あやせ健康ファミリーマラソン大会」の参加者に対して、記念品を提供しました。

(4) 「安藤記念奨学金」の給付をはじめ、健全な青少年の育成のための奨学、助成事業

「安藤記念奨学金」給付事業については、当法人が指定した東京都および神奈川県など、小田急沿線を中心とする高校、大学の在学生および大学院に在籍する在日外国人留学生に対して、「安藤記念奨学金」を給付しました。

平成25年度の新規採用については、高校生13名、大学生12名、大学院留学生3名を採用するとともに、平成25年7月31日には、大学生、大学院留学生に対し、また、同年11月23日には、高校生に対し、奨学金証書授与式を開催しました。

なお、平成25年度の奨学生への支給実績は以下のとおりです。

高校生	(月額12千円)	46名	計	6,624千円
大学生	(月額20千円)	42名	計	10,080千円
大学院留学生	(月額30千円)	6名	計	1,980千円
大学院留学生のうち1名は、9月に卒業のため6か月分支給				
支給額合計				18,684千円

「研究助成」事業については、小田急沿線に本校また学部が所在する大学などに対して、募集ポスターを製作し、募集要項・申請用紙などのデータを記録したCDとともに送付しました。さらに、小田急電鉄株式会社の広報紙「ODAKYU VOICE」にて募集告知をしたほか、ホームページを通じて、募集を行った結果、14件の応募がありました。これら14件の研究については、平成26年2月17日に岡田選考委員長をはじめとする7名の選考委員による選考委員会の審査の結果、以下の3名を本年度の助成対象者として採用し、1件1,000千円、合計3,000千円を給付しました。

氏名：野口 武悟 (のぐち たけのり)氏

所属：専修大学 文学部人文・ジャーナリズム学科 准教授

研究テーマ：「多様な人々がアクセス可能な防災情報提供モデルの開発」

- 首都圏の自治体を対象とした実態調査をふまえて -

氏名：伊藤 昌毅 (いとう まさき)氏

所属：東京大学 生産技術研究所 助教

研究テーマ：「スマートフォンを活用した屋内経路情報共有システムの開発」

氏名：小林 周（こばやし あまね）氏  
 所属：慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 後期博士課程  
 研究テーマ：「小田急線代々木上原～湘南台～海老名の各駅を結ぶエリアにおける、イスラーム教徒の観光・購買スタイル、行動パターンの調査分析」

また、選考委員会終了後、平成24年度に採用された3名の研究者による研究成果の発表および選考委員からの質疑、評価なども併せて行いました。

### 3 法人の運営について

#### (1) 業務執行体制について

平成25年度については、定款に基づき、以下のとおり理事会および評議員会を開催しました。

##### 理事会

開催期日	議決事項などの内容	結果
平成25年5月24日	平成24年度事業報告書(案)の承認について 平成24年度計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその附属明細書ならびに財産目録(案)の承認について 規則の制定および一部改正について 選考委員の選任(案)について 平成25年度定時評議員会の招集について 代表理事による職務の執行状況の報告について(報告) 監事監査規則の制定について(報告)	可決 可決  可決 可決 可決
平成26年3月17日	平成26年度事業計画書(案)、収支予算書(案)および「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」等の承認について 規則類の制定および一部改正について 研究助成選考委員会の結果報告について(報告) 安藤記念奨学金給付の指定校について(報告) 代表理事による職務の執行状況の報告について(報告)	可決  可決

##### 評議員会

開催期日	議決事項などの内容	結果
平成25年6月11日	議事録署名人の選任について 平成24年度計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその附属明細書ならびに財産目録の承認について 評議員会運営規則の制定について 平成24年度事業報告書について(報告) 平成25年度事業計画書、収支予算書および「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」等について(報告) 理事会運営規則の制定について(報告) 選考委員の選任について(報告)	可決 可決  可決

#### (2) 規則類の整備について

事業内容を適切に運営、管理するために規則類の制定、改正を行いました。

### (3) 財務の健全化について

当法人の事務局業務については、小田急電鉄株式会社に委託しています。また、経理業務については、株式会社小田急フィナンシャルセンターに委託し、予算・決算資料などの作成に当たっては、新日本有限責任監査法人の指導を受けています。

### (4) 情報公開について

ホームページを活用して、「安藤記念奨学金」や「研究助成」の募集活動を行うとともに、平成25年度の公益活動内容を逐次紹介しました。さらに、平成26年3月10日には、平成25年度の公益活動内容を紹介した「2013年度公益活動REPORT(レポート)」500冊を製作し、奨学生をはじめ、関係者に配布しました。

### (5) 内閣府への届出について

平成25年6月11日付けで開催した定時評議員会において、平成24年度計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその附属明細書ならびに財産目録が決議され、また、平成24年度事業報告書の報告が完了したことに伴い、内閣府に対し、事業報告書等に係る届出書を平成25年6月19日に提出し、同年10月15日付けで受理されました。

平成26年3月17日付けで開催した第2回理事会において、平成26年度事業計画書および収支予算書が決議されたことに伴い、内閣府に対し、事業計画書等に係る届出書を平成26年3月25日に提出し、同年4月14日付けで受理されました。

## 4 評議員に関する事項について

平成26年3月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

定数6名以上12名以内 現在数11名

(平成23年11月28日選任、縄田正己は平成24年6月14日選任)

評議員会議長	利 光 國 夫	
評議員	安 藤 信 介	箱根ロープウェイ株式会社取締役営業推進部長
評議員	上 田 栄 治	木挽町総合法律事務所弁護士
評議員	太 田 勝 敏	東京大学名誉教授
評議員	岡 部 憲 明	岡部憲明アークチャーネットワーク代表取締役
評議員	杉 山 雅 洋	早稲田大学名誉教授
評議員	坪 井 晴 雅	坪井工業株式会社代表取締役社長
評議員	縄 田 正 己	鈴木・長谷川法律事務所弁護士
評議員	松 田 利 之	小田急電鉄株式会社顧問
評議員	松 信 裕	株式会社有隣堂代表取締役社長
評議員	吉 田 宏	鉄道機器株式会社代表取締役会長

## 5 役員等に関する事項について

平成26年3月31日現在の役員等は、以下のとおりです。

### (1) 理事(平成24年6月14日選任)

定数6名以上12名以内 現在数11名

理事長	大須賀 頼 彦	小田急電鉄株式会社取締役会長
副理事長	山 木 利 満	小田急電鉄株式会社取締役社長
理事	安 藤 創 造	
理事	井 上 荘太郎	井上病院院長
理事	岡 田 清	成城大学名誉教授
理事	小 原 芳 明	学校法人玉川学園理事長
理事	久 保 敏	一般社団法人日本鉄道電気技術協会技術顧問
理事	鈴 木 孟 秋	鈴木・長谷川法律事務所弁護士
理事	藤 田 耕 三	田辺総合法律事務所弁護士
理事	向 井 孝 次	向井・安藤法律事務所弁護士
理事	森 山 寿 雄	

(2) 監事（平成24年6月14日選任）

定数3名以内 現在数2名

監事	今 泉 敏 榮	公認会計士
監事	端 山 貴 史	小田急電鉄株式会社財務部長兼IR室長

(3) 顧問（平成24年5月18日選任）

1名以上6名以下を置くことができる

顧問	北 中 誠	
顧問	杉 山 武 彦	成城大学教授
顧問	山 下 寛	公認会計士

6 研究助成に係る選考委員について

平成26年3月31日現在の選考委員は、以下のとおりです。

（平成25年5月24日選任）

選考委員長	岡 田 清	当法人理事
選考委員	大須賀 頼 彦	当法人理事長
選考委員	太 田 勝 敏	当法人評議員
選考委員	岡 部 憲 明	当法人評議員
選考委員	杉 山 武 彦	当法人顧問
選考委員	杉 山 雅 洋	当法人評議員
選考委員	利 光 國 夫	当法人評議員会議長
選考委員	山 木 利 満	当法人副理事長

7 取引銀行について

平成26年3月31日現在の取引銀行は、以下のとおりです。

- (1) 株式会社三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店
- (2) 株式会社みずほ銀行 新宿法人支店

以 上